

釧路公立大学地域経済研究センター・(財)北海道開発協会 共同  
「循環型社会形成研究会」講演会のご案内

21世紀は「環境の世紀」といわれますが、北海道開発政策においても、地球温暖化が顕在化してきている中で、経済、生活の持続的な発展と二酸化炭素削減を達成する低炭素社会の実現に向けた取り組みが急務になってきています。化石燃料エネルギーを中心にした多消費型の経済社会システムから地球環境に負荷を与えない脱炭素への転換を図る、資源循環型の経済社会システムの構築を図りながら、自然と共生する持続的な地域社会の形成を図っていく知恵が求められています。

こうした問題意識のもと、釧路公立大学地域経済研究センターと(財)北海道開発協会では、循環型社会形成の経済的な意義について考えていくとともに、低炭素社会に向けて経済発展と両立させながら着実に取り組みを進めている先行事例などについての調査研究を共同研究として取り組んでおります。

今回の研究会では、昨年、分権改革10周年を迎えたイギリス・スコットランドを訪問した北海道大学公共政策大学院教授の山崎幹根さんとジャーナリストの方に、地方分権から10年を経たスコットランドについて、特に現在取り組まれている環境政策を軸にした地域の発展戦略についてお話をいただきます。関心のある方であればどなたでも参加できます。皆様の参加をお待ちしております。

循環型社会形成研究会代表 小磯修二(釧路公立大学学長・地域経済研究センター長)

## テーマ：「地方分権と環境政策による地域の発展戦略

～分権改革10周年のイギリス・スコットランドの環境政策～

講師：山崎幹根氏(北海道大学公共政策大学院 教授)ほか

現在スコットランドでは独自の発展戦略を明確に掲げ、地域づくりをすすめています。その中で、地域特性を生かして積極的に取り組まれているのが、環境政策です。風が強いなど地理的・自然環境条件を最大限に活用し、再生エネルギー利用率を高め、関連産業を成長させて地域発展に結び付ける狙いです。環境政策を中心に、分権改革から10年を経たスコットランドの動きについてご講演いただきます。

### <講師プロフィール>

1967年三重県生まれ。北海道大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学後、釧路公立大学助教授、北海道大学法学研究科助教授を経て、'05年北海道大学公共政策大学院助教授、'07年より現職。'02～'04年、英国スコットランド・アバディーン大学政治・国際関係学部で客員研究員としてスコットランド分権改革の現状を研究。昨年、自治・分権ジャーナリストの会のメンバーとともに、分権改革10周年を迎えたスコットランドを訪問した。

と き：2010年3月16日(火) 13:30～15:30

ところ：(財)北海道開発協会 6階ホール

(札幌市北区北11条西2丁目セントラル札幌北ビル)

TEL(011)709-5213(開発調査総合研究所)

参加申し込みは裏面の申込書にご記入の上、FAXにてお申し込みください。

**「循環型社会形成研究会」講演会**  
**2010年3月16日（火）開催 参加申込書**

所属団体	役職	氏名 <small>(よみがな)</small>	連絡先（TEL）

必要事項をご記入の上、

**FAX (011) 631-0540 (プランニング・メッシュ 担当：関口) までお申し込みください。**

※この件についてのお問い合わせは、TEL (011) 631-0540 (プランニング・メッシュ 担当：関口まで)

※参加申し込みは3月10日（水）で締め切らせていただきますが、定員に達した場合は、期日前に締め切らせていただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。